

2026 9
No.310



全グラ情報

JAPAN



情報溢れる時代に、私たちが包むもの 「確かな手触り」と「本質」の価値

九州グラビア協同組合
理事長 母里圭太郎



はじめに

日頃より組合活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私たちを取り巻く経営環境は、原材料価格の動向や環境配慮への要請、人手不足など、常に変化と課題に満ちています。どのような状況にあっても、皆様が日夜、技術と品質向上に向き合い、安心・安全な食品包装を社会へ送り届けて下さっていることに、深く敬意を表します。

さて、私たちが暮らす日常の生活に目を向けてみますと、最も劇的な変化を感じるのは「情報の量とスピード」ではないでしょうか。スマートフォンを開けば、世界中のニュース、SNS のタイムライン、無数の広告や動画が怒涛のように流れ込んできます。AI 技術の進化も相まって、私たちは歴史上かつてないほどの「情報過多社会」を生きています。2025 年の世界のデータ量は 180ZB（1 ゼタバイト=1 兆ギガバイト）という想像を絶する規模に達し、すべての情報を吟味し選択することはもはや不可能といえます。

便利になった反面、あまりに多すぎる情報は、時に人々の視界を濁らせ、疲弊させます。どれが真実で、何を選ぶべきなのか。そうした「迷い」の時代において、私たちが手掛ける軟包装・ソフトパッケージという存在の価値について、今一度、組合員の皆様と考えを共有したいと思います。

「情報」を伝える手段としてのパッケージ

かつて包装資材の役割といえば、「内容物を保護する（保護性）」「持ち運びやすくする（利便性）」ことが大半を占めていました。これらに加えて「最も身近な情報メディア」としての役割が存在感を増しています。

食品表示と安全性

「原材料名、アレルゲン、賞味期限、栄養成分」といった必須情報は、消費者の健康と安全を守ります

デザインとブランド

店頭の棚に並んだ一瞬で製品の魅力を伝え、購買意欲を喚起する「顔」としての役割があります

サステナビリティの開示

「バイオマスフィルム使用」「リサイクル可能」といった環境対応を示す表示は企業の姿勢そのものを消費者に伝えます

このように、パッケージの表面・裏面にも多くの「情報」が印刷され、消費者はそこに書かれたすべての情報をじっくり読む余裕を失いつつあります。街にも、ネットにも、商品パッケージにも情報が溢れている。だからこそ、「ただ情報を詰め込む」ではなく、「いかに分かりやすく、優しく、そして偽りのない情報を届けるか」という視点が大切になってきています。

デジタルな情報化社会だからこそ際立つ「物理的な信頼」

情報化社会では、あらゆるものがデジタル化され、画面の向こう側の出来事になってしまいます。手触りのない画像や動画、テキストが流れては消えていく世界において、私たちが作る軟包装が持つ実体（フィジカル）の価値が際立つのではないのでしょうか。

- ・お菓子の袋を破る瞬間の、心地よい手ごたえ
- ・密封されたレトルトパウチがもたらす、「中身はおいしく安全に守られている」という確信
- ・チャック付き袋を閉めるときの、パチッという確実な感触

これらはすべて、デジタル画面では決して味わえない「物理的な体験と安心感」です。

どれほど情報が溢れ、バーチャルな世界が広がろうとも、人間が生きていく上で「食」は不可欠であり、その「食」を守るパッケージに手で触れ、開封し、口にするという行為は変わりません。

情報が曖昧で流動的になればなるほど、消費者は手に取った「確かな手触り」や「安心感」に救われます。私たちが製造しているのは、単なるプラスチックやフィルムの加工品ではありません。手に取ることができない情報とは違う、現実の手触りを通して消費者が当たり前のように信頼を寄せる「安心の防壁」を作っているのです。

情報の渦の中で、取るべき舵取り

では、このような状況下、中小企業はどのように経営の舵を取るべきでしょうか。「量の情報戦」ではなく、私たちが目指すべきは「質の高い価値の深化」です。

(1) 「ノイズ」を減らし、「本質」を伝える設計

「情報メディア」としてのパッケージに、法的に義務付けられた必須項目と、商品の魅力を伝える訴求情報を分かりやすく適切に表示するとともに、包材設計においては「エンドユーザーが直感的に安心できる包装」という視点が不可欠です。複雑な機能を詰め込むのではなく、開封のしやすさ、視認性の高さ、廃棄のしやすさなど、ストレス社会に寄り添う「引き算の設計」が求められています。

(2) 安心を確約する「現場の技術」

消費者の「安心感」を担保するのはパッケージの保護機能であり、保護機能は包材設計や材料の品質レベル管理から製造工程までの「現場の技術」によって実現されます。

様々な情報が飛び交う現代、口先だけのアピールや見せかけのトレンドはすぐに見破られます。最後に残るのは「やっぱり〇〇さんの会社の袋は安心できる」「製袋の精度が抜群に高い」「対応が誠実だ」という、現場から生まれる実績と品質の事実です。どれだけ時代が変わっても、職人的な技術や製造現場の地道な改善活動こそが、最も価値ある情報（強み）となります。

(3) 組合という「知のネットワーク」の活用

1社だけでは、日々変化する環境規制（脱プラ・再資源化など）や最新のデジタル技術、原材料の高騰といった膨大な情報を精査しきれません。だからこそ、この「組合」が存在します。

情報の洪水の中で溺れることなく、真に経営に役立つ「生きた情報」を共有し、互いに学び合い励まし合う、この組合員同士の繋がりこそが、情報過多社会を生き抜くための羅針盤となります。

おわりに

情報過多に疲れた人々が、ふとスーパーの棚で商品を手にとったとき、その袋が手に馴染み、開けやすく、中の食品がみずみずしく保たれている。その一瞬の体験の中に、私たちが注ぎ込んできた技術と情熱、そして誠意がすべて詰まっています。

私たちは、単にモノを包んでいるのではありません。

溢れる情報の中で疲れた人々の「食の安心」を包み、「日常の笑顔」を包み、そして「未来の環境」を包んでいるのです。私たちが提供している価値は、これからの時代において益々その重要性を増していきます。自社の製造現場で汗を流す従業員の皆さん、そして何より経営の舵を取る会員の皆様ご自身が、この仕事に強い誇りを持っていただきたいと思います。



8月18日に「パッケージ産業振興議員連盟」設立のお願いに藤川政人参議院議員（参議院予算委員長）を訪れたときの様子

CONTENTS

巻頭言 情報溢れる時代に、私たちが包むもの「確かな手触り」と「本質」の価値 ①

九州グラビア協同組合 理事長 母里圭太郎

令和 8 年熊本地震によせて ⑥

九州グラビア協同組合 理事長 母里圭太郎

JFPI

GP環境大賞・GPマーク普及大賞・GP資機材環境大賞：グラビア部門は北四国グラビア、巧芸社、賀谷ゼロファンが受賞 ⑦

Packaging

カナオカ・RNスマートパッケージング：「ラベルレスサーマル」「スマレンジ」などの普及推進、食品包装分野で業務提携 ⑧

軟包装衛生協議会：TOKYO PACK 2026に出展、10月16日に無料セミナーも ... ⑨

Gravure

日本印刷学会グラビア印刷技術研究会：フィルム、印刷機、製版、インキ、ラミネートをテーマにグラビア基礎講座を開催 ⑩

今月の気になる製品

ニレコ：高速・高精細な印刷品質検査装置「BCON6000」 ⑭

酒は永遠の友 vol.20 田口 薫 16

Data Watch 2026年5月データ 18

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2026年6月 ... 24

GP 認定制度申請についてのお願い 29

GP 工場認定制度無料説明会のご案内 30

賛助会員の話題 34

ノンソルラミネーター用自動2液混合装置、スペインLR Products社の「bi-2mixer」
(株)オリオン商事 代表取締役 千明直也

Information

TOPPAN、「いただき紙トレイ」がスターゼンの「楽しくおつまみ」シリーズに初採用
..... 13

越後製菓、「日本のごはん」に接着樹脂を使わないフィルム包装を採用 31

JPI、9月17日、18日にAI、包装システムIoT 標準化をテーマにセミナー開催 ... 47

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円＋税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会まで。
e-mail: zenkoku-grv@jipi.or.jp

発行：2026年9月10日

発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）

発行所：全国グラビア協同組合連合会

〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9

あさひ墨田ビル

TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814

編集スタッフ：下田幸二（全国グラビア協同組合連合会専務理事）、

戸部初雄（全国グラビア協同組合連合会）、

酒井由香（同）

編集協力：(株)加工技術研究会

印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2026

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

令和8年熊本地震によせて

九州グラビア協同組合 理事長 母里圭太郎

2016年4月14日、16日のいずれも最大震度7の熊本地震、そこから10年後、またしても熊本に最大震度7の震災が甚大な被害をもたらしました。2016年6月のGPJAPAN 巻頭言では九州グラビア協同組合の中村政晃理事長（当時）が、震災の状況を伝え、「備え」の大切さ、復興への気持ちを記載されています。10年後の今でも「備え」の大切さ、復興に向けての様々な動き、その本質は変わりませんが、今回はショッピングモールでの大規模爆発や熊本で初の酷暑日など想定を超える事態が重なっています。

天災は私たちの想定を遥かに超える大きな被害をもたらし、過去の記録や予測にとらわれず、常に「想定外」が起きるものとして備えることは大切です。このことを認識したうえで、日々の生活や企業活動・社会活動とのバランスを取りながら、ルールや基準（コンプライアンス）を遵守する必要があります。

マスコミがショッピングモールの運営会社に対してガス漏洩によると思われる爆発を「想定」すべきだったと責め立てる様子に違和感を覚えました。今回の件を検証し、その結果を次の「備え」に役立てることが何よりも大事です。漏洩箇所の特定制から配管やガス施設の設計、さらに高圧ガス保安規制の改訂に反映させ、建屋側では内圧を逃す構造の検討が必要かもしれません。今後の知見につながるものが見えてきはじめて、従来の想定すべき範囲（＝人災といえる部分）がわかります。危険物・可燃物を扱う工場を動かして事業を営んでいますので、他人事とは思いませんでした。

寺田寅彦は、文明が進むほど自然災害の被害が増大することを指摘し、天災による被害を忘れることの危険性を訴えました。この「天災は忘れた頃にやってくる」から100年、「天災は忘れてなくても、やってくる」時代になっています。「備え」を見直しましょう。

GP 環境大賞・GP マーク普及大賞・GP 資機材環境大賞

グラビア部門は北四国グラビア、巧芸社、 賀谷ゼロファンが受賞

(一社)日本印刷産業連合会は、グリーンプリンティング (GP) 認定制度の 2026 年度 GP 環境大賞、GP マーク普及大賞、GP 資機材環境大賞の受賞企業・団体を決定した。表彰式は 2026 年 10 月 14 日 (水) に東京・神保町の出版クラブホールにおいて行われる。受賞企業・団体は次の通り。

GP 環境大賞

GP 環境大賞ゴールドプライズ：日本航空(株)

＜一般印刷の部＞ GP 環境大賞：(株)教育芸術社、(株)ファンケル、GP 環境準大賞：(株)熊本リビング新聞社、(株)ホンダモビリティ南関東

＜パッケージ印刷の部＞ GP 環境大賞：国分グループ本社(株)、GP 環境準大賞：(有)味源、竹下製菓(株)、チャコット(株)

GP マーク普及大賞

GP マーク普及大賞ゴールドプライズ：(株)KASAMA、(株)北四国グラビア印刷、丸正印刷(株)、六三印刷(株)

＜オフセット印刷部門＞ GP マーク普及大賞：宝印刷(株)、(株)文伸、GP マーク普及準大賞：伊藤印刷(株)、精英堂印刷(株)

＜グラビア・シール・スクリーン印刷部門＞ GP マーク普及大賞：(株)巧芸社、GP マーク普及準大賞：賀谷ゼロファン(株)

＜製本・表面加工部門＞ GP マーク普及準大賞：(株)シュウエイ、(株)多田紙工

GP 資機材環境大賞

＜資材部門＞＜機材部門＞ GP 資機材環境大賞：いずれも今年度は該当なし

カナオカ・RN スマートパッケージング 「ラベルレスサーマル」「スマレンジ」などの普及推進 食品包装分野で業務提携

(株)カナオカと RN スマートパッケージング(株)は、食品包装分野における社会課題の解決に貢献する包装ソリューションの普及拡大を目的として、2026 年 8 月 3 日に製造販売提携契約を締結した。

今回の提携により、食品業界における人手不足への対応や環境負荷低減といった課題の解決に向け、カナオカの販売ネットワークと RN スマートパッケージングの包装ソリューションを組み合わせ、ラベルレスサーマルをはじめとするソリューションの展開を進めていく。

また、この提携を起点に多様なパートナーとの連携を通じて、持続可能な食品包装の実現に貢献する包装ソリューションの普及拡大に取り組んでいく。

食品業界では、環境負荷低減への対応、人手不足を背景とした省人化ニーズの高まりに加え、原材料調達やサプライチェーンの不確実性への対応など、さまざまな課題への対応が求められている。こうした中、包装には従来の商品の保護や情報表示に加え、資材使用量の削減、作業効率化、安定供給への貢献といった新たな役割が期待されている。

提携を通じて両社の強みを活かし、ラベル貼付工程の省力化や資材削減に貢献する「ラベルレスサーマル」や、開封不要で加熱できる自動蒸通包材「スマレンジ」などの包装ソリューションの普及拡大を推進する。これにより、食品業界における省人化や環境負荷低減に貢献するとともに、食品包装市場における新たな価値の創出に取り組んでいく。



ラベルレスサーマルを使ったトップシール（左）とスマレンジ（自動蒸通包材）

軟包装衛生協議会

TOKYO PACK 2026 に出展 10月16日に無料セミナーも

軟包装衛生協議会（西澤尚浩会長）は、2026年10月14日（水）～16日（金）まで東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2026 東京国際包装展」に出展し、軟包装の社会的役割をアピールする。

軟包装衛生協議会は、1975年の設立から衛生管理自主基準と認定工場制度の運用を通じて、会員企業の品質と安全性の維持向上に取り組んでいる。原材料から製造工程に至るまで一貫した衛生管理が求められる食品用の一次包装として軟包装が果たす重要な役割と、安心・安全を支える取り組みを「軟包装を取り巻く社会環境と軟衛協の活動」「会員と認定工場」「認定工場制度による信頼性の確保」「現場における衛生管理の実践」の4つの視点で分かりやすく紹介する。清浄度によるエリア区分と具体的な自主基準の要求事項をイラストで紹介するとともに、映像でも軟包装で食の安心・安全を守る工場の取り組みを上映し、実際の現場を疑似体験してもらう。

また、会場内で開催される「出展社セミナー」では、「軟衛協・包装材メーカーのEU対応！ PPWRとFCMの実務ポイントを30分で理解」をテーマに、PPWR（包装・包装廃棄物規則）とFCM（食品接触材料）両規則の基本構造と技術要件を、日本の法令との違いも踏まえて、30分で整理する。

＜出展社による最新包装技術セミナー＞

開催日時：10月16日（金）12：20～12：50

会場：C会場（東2ホール）

定員：100名

テーマ：軟衛協・包装材メーカーのEU対応！ PPWRとFCMの実務ポイントを30分で理解

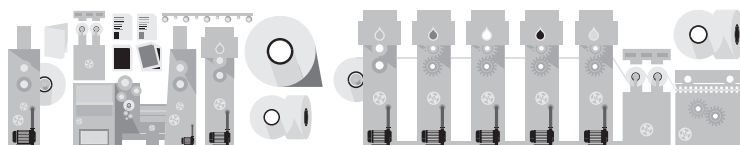
講師：軟包装衛生協議会 常務理事 逸見るみ子氏

申込み：当日先着順。セミナー会場にて受付（参加無料、名刺持参）

展示ブース：東1ホール・小間番号1A17



軟包装衛生協議会ブース
イメージ



フィルム、印刷機、製版、インキ、ラミネートをテーマに グラビア基礎講座を開催

2026年7月22日（水）、午後1時30分～5時まで、（一社）日本印刷学会 技術委員会 グラビア印刷技術研究会主催の第12回グラビア基礎講座が Zoom において開催された。フィルム（基材）、印刷機、製版、インキ、ラミネートの5つテーマで、基礎からトラブル対処について各講師が解説した。

グラビア印刷時のフィルム取り扱いに関する留意点

ユニチカ㈱ 包装フィルム統括営業部 大葛貴良氏

フィルム要因の印刷抜けやインキ転移不良の主な原因としては、フィルム表面の付着物、異物、シワ、滑り性不足、コロナ処理不足などがある。特にナイロンは湿度が上がると滑り性が悪化する。対策としては、作業現場のホコリ対策や温湿度管理、原反の適切な保管期間の遵守などが効果的とのこと。

静電気は、フィルムの巻出時の摩擦や低湿環境などで発生しやすいため、除電装置の設置や作業環境の温湿度管理で対策する。

見当ズレは、フィルムの厚みムラや滑り性不良による蛇行、乾燥時の熱収縮、ナイロンの吸湿による寸法変化などが原因となるため、温湿度管理の徹底やフィルムに応じた加工条件の調整、開梱後の速やかな使用が求められる。

特に OPP は、テンションをかけすぎると縦方向に伸びてしまう傾向があるので、加工条件などに注意が必要だとした。また、ナイロンの吸湿伸びは、「温度 20℃、湿度 70% の環境で 1 時間放置すると、1.2% ほど伸びるため、開梱後は速やかに使用することが大事なポイント」だと説明する。

残留溶剤については、印刷、ラミネート後の乾燥不足に加え、バリアフィルムを使用している場合に残りやすい傾向がある。残留溶剤削減には、乾燥温度、特に風量のアップが効果的だとした。

ラミネート加工でよく使われる酢酸エチル、トルエン、MEK、IPA といった溶剤では、「OPP はトルエンが残りやすいフィルムで、バリアコートするとさらに残留量が多くなる。また、IPA は残留しにくい特性を持つが、PVDC コートをすると残りやすくなる。同じ OPP でも加工によって溶剤の残る量が変わってくることを注意してほしい」と話した。

グラビア印刷機の基礎

富士機械工業(株) ソリューション開発部 西村高博氏

グラビア印刷機は巻出部から巻取部へと基材を搬送し、高速搬送時の空気巻き込みを防ぐ溝付きガイドロールや高精度なロール間隔の調整によりシワや蛇行を抑制する。

印刷ユニットでは、すべての版胴を同期して回すシャフトレスドライブ方式が主流。インキング装置でファニッシャーロールを介してインキをセルに押し込み、ドクターが角度や位置を調整しながら余分なインキを掻き落とす。乾燥機はV型ノズルと多孔板を組み合わせてインキの溶剤を飛ばし、クーリングロールで基材の温度を戻す。見当合わせは、マークセンサーでズレを検出し、版胴の位相を直接ずらすコンペンレス方式で高精度に補正する。

グラビア印刷は基材を引っ張りながら印刷を行うため、張力解放時の縮みを想定し、仕上がりピッチに合わせて版胴の円周長をあらかじめ長く設計する必要がある。なかでも重要なのがインフィード張力で、印刷ピッチに直接影響を与える。版胴径のわずかな差がユニット間の張力に影響するため、各版胴は同径で製作し、実測して径の小さい順に製版する「同径の順径」を推奨している。

高品質なグラビア印刷を成功させるためには、「高性能な印刷機本体に加え、高精度に作られた版胴、ヤング率や厚みが一定である良質な基材、インキといった複数の要素がすべて揃っていないなければならない。どれか1つでも条件が欠けるとトラブルにつながる」とまとめた。

グラビア製版の基礎

東洋 FPP (株) 川口製造所 松崎徳治氏

グラビア製版における一般的な画像処理の流れとしては、クライアントが作成したパッケージのデザインデータをパッケージ製版処理専用ソフトを用いて逃げ処理や白版などを作成し、印刷用データに加工する。また、「カラーマネージメントを運用して各印刷会社で使用されるインキや原反、印刷コンディションの違いに対応するため、プロファイルなどを読み込み、指定の仕上がりが忠実に再現できるよう細かな調整を行う」と説明。

版の母材には一般的に鉄が使用され、軟包装ではスリーブタイプのシリンダーが広く用いられている。製版工程では、鉄芯にニッケルメッキを挟んで銅メッキを施し、研磨によって高精度に仕上げた上で、ダイヤモンドの針による彫刻や、薬品を用いる腐食によって版を完成させる。仕上げ工程で使う砥石研磨は番手の細かな石で削っていく。ダイヤモンド針で研磨するポリッシュマスターは $\pm 5/1000$ のシリンダー精度が出せる。砥石の場合は $\pm 3/100$ 程度なので、精度の高い印刷をしたい場合や、水性インキに使用する場合などに採用されるとのことだ。

彫刻製版はセルの大きさと深度差によってシャドウからハイライトまでの階調表現に優

れ、腐食製版は幅広い深度や滑らかな文字表現が可能。線数については、一般的な軟包装は 175 線 /inch、紙や金銀印刷は 150 線 /inch、味噌やスープの白ベタ版には 133 線 /inch、ホットメルトやパートコートなどの接着剤には 100 線 /inch などに対応できる。

グラビアインキの基礎、印刷時のトラブルシューティング

サカタインクス(株) グラビアパッケージ事業部 応用技術部 東京技術グループ
加藤純章氏

グラビアインキは、発色性を担う着色剤、基材への密着性付与や顔料への分散を行う樹脂、樹脂の溶解や乾燥性をコントロールする溶剤、各種物性を付与する添加剤の主に 4 つの成分で構成され、用途に応じたグレードの選定が必要となる。

ボイル以上の適性がないスナックグレードとボイル適性があるグレードの紅赤インキをナイロンフィルムにそれぞれ印刷し、非印刷面に無地のナイロンフィルムを重ね、100℃の熱水に 30 分浸漬すると、スナックグレードのインキは上の無地フィルムまで到達したという、自社での実験結果を紹介。「用途に合ったインキを選択することが重要で、特に残肉インキの使用時や調色インキで間違ったグレードを選択したりすると、こういったトラブルが起こる」と話す。

印刷時に起こる版かぶりのトラブルについては、インキの粘度調整や希釈溶剤の見直しなどが有効であり、ドクターズジヤーツー汚れは、インキ循環系へのフィルター設置や異物除去などの対策を紹介。版詰まりにはドクター位置の調整や遅乾性溶剤の使用、白化には適切な希釈剤の選定や印刷速度を上げることなどを挙げた。

ポイントとしては、「印刷時に発生する様々なトラブルの現象を理解し、各トラブルの発生要因を事前に把握しておくことが重要。1 つの要因で起こるものではないので、原因を特定してトラブルを抑えることが大切だ」としていた。

ラミネート概論

東洋モートン(株) 接着剤事業本部 軟包装技術サービス課 武本 昇氏

ラミネート接着剤の 9 割以上を占めるウレタン系接着剤は、イソシアネート (NCO) とポリオール (OH) の反応でウレタン結合を形成する。ウレタン系接着剤はエーテル系とエステル系に大別され、エーテル系の耐熱性はスナック～ボイル、エステル系はボイル～レトルトに対応。エーテル系は、安価で溶剤の飛びが良いため高速加工が可能 (～300m/分)。エージングも短く 1～2 日であるが、耐久性はエステル系に劣る。エステル系は高耐久性であるが、生産性 (加工～200m/分、エージング 40℃・1～4 日)、コストはエーテル系より劣る。

NCO は芳香族系と脂肪族系に分類され、熱殺菌処理が必要な包材で食品に近い内層は、芳香族アミンを懸念し脂肪族を使うことが多いとのこと。

ドライラミのトラブルでは、塗布量不足による接着剤のかすれや、硬化剤がインキ層に浸透することで架橋が不十分となりインキ部でデラミが発生することがある。「接着剤の粘度管理が重要で、特に寒い冬場は接着剤の粘度が上がって不良が起きてしまう。また、冷え切った原反に接着剤が転移した途端に粘度が上がって不良になることもある」と説明。インキ上のトラブルについては、添加剤の過剰添加や残肉使用によって、インキ表面に凝集物ができて接着不良を招くケースもあり、接着剤の塗布量増加やインキの2液化などの対策を紹介した。

ノンソルラミでは、粘度が高いため糸引きによる気泡やトンネリングといったトラブルがある。対策としてはテンションコントロールのほか塗布量削減などを挙げた。また、白インキで起こる、接着剤がインキ層に浸透して下地のアルミ蒸着層が見えてしまうダーキングの対策にはインキ2液化で浸み込みを抑制、ゆず肌現象は巻圧コントロールやオシレート機能の活用などを挙げた。バリア基材同士のラミネートで発生するガス発泡については専用接着剤の選定が重要であるとした。

i Information

TOPPAN、「いただき紙トレイ」がスターゼンの「楽しくおつまみ」シリーズに初採用

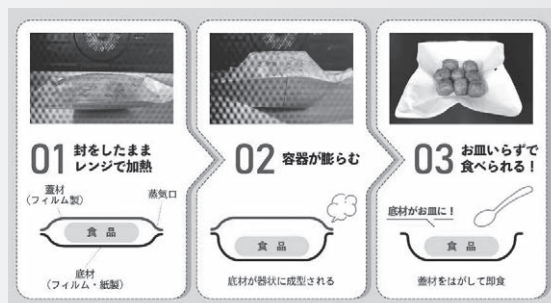
TOPPAN(株)は、2024年にレンジ調理後そのまま皿として使用できる「いただき紙トレイ」を開発した。今回、同製品が初めて、スターゼン(株)の「楽しくおつまみ」シリーズに採用され、9月より全国発売を開始した。

同パッケージは、蓋材(フィルム製)と底材(フィルム・紙製)の2パーツ構造。アルミ不使用で、サイドシール部に蒸気口を設けることで加熱調理前に開封することなく電子レンジ加熱が可能。加熱時の内部圧力により底材が器のように成形されるため、加熱後は蓋を剥がすだけでそのまま皿として使用できる。これにより、調理時間の短縮や家事負担の軽減といった消費者の利便性が向上。また、同容量の一般的なプラスチックトレイと比較し、プラスチック使用量を約48%削減(同社算定)する。

今後は同製品を食品メーカーに向けて提供し、関連受注を含めて2030年までに5億円の売上を目指す。



「楽しくおつまみ」



「いただき紙トレイ」レンジアップ時の形状変化



—— 今月の気になる製品 ——



ニレコ

高速・高精細な印刷品質検査装置 「BCON6000」

（株）ニレコは、印刷品質検査装置「BCON6000」を発売した。BCON6000 は、同社が長年培ってきた印刷品質検査技術をベースにハードウェアを刷新し、新たに開発した絵柄検査装置。従来機種「BCON5000」で実績を重ねてきた同社独自の得点方式に加え、欠点サイズ判定の高精度化、欠点の定量的な把握と品質判定を支援する。

同社の印刷品質検査装置 BCON シリーズは、軟包装、シール・ラベル印刷、紙包装パッケージ印刷、衛生材料印刷、製袋印刷など幅広い印刷関連分野で採用されている。前機種 BCON5000 は、2015 ～ 26 年までに約 220 台の販売実績を有する。

BCON6000 は、従来機種の後継モデルとして、最新の画像処理プラットフォームを採用し、検査性能と設置自由度の向上を図ったもの。近年、印刷品質への要求が一段と高度化する中、欠点の見える化、検査結果の定量的な把握、設備条件に応じた柔軟な導入へのニーズが高まっている。こうした市場ニーズに応えるため、画像の均一性・再現性、欠点判定、同期安定性を高めた新機種として BCON6000 を市場投入し、今後 3 年間で累計 100 台の販売を目指す。

BCON6000 では、3 CMOS カラーラインセンサカメラとレンズ収差補正技術を組み合わせることで、画像の高い均一性と再現性を実現した。また、制御盤からカメラまでのケーブル長は最大 70m（設置条件による）に対応、装置レイアウトや生産ラインの状況に応じた柔軟な設置が可能。

さらに、高精度化したパターンマッチング機能により、製品の伸縮や蛇行により発生する同期ずれを低減することで、従来以上に安定した検査を行うことができ、誤検知の抑制や検査結果の信頼性向上に貢献する。従来機種で評価されてきたニレコ独自の得点方式に加え、高精度化された欠点サイズ判定により、現場ごとの品質基準に応じた柔軟な検査運用を支援する。

対象となる検査は主に絵柄検査で、無地検査については条件により一部対応。対応工程



BCON6000 本体

としては、グラビア印刷、フレキソ印刷、ラベル印刷のほか、条件によりデジタル印刷、ドライラミネート、押出ラミネート、巻替機、スリッター、コーター、ガセット機、製袋機などでの利用を想定している。

主な特長

(1) 独自の得点方式+サイズ判定

従来機種で実績を重ねてきた得点方式に加え、高精度な欠点サイズ判定により、品質判定の定量化を支援。

(2) 高い画像均一性と再現性

3CMOS カラーラインセンサカメラとレンズ収差補正技術により、安定した画像取得を実現。

(3) パターンマッチング機能

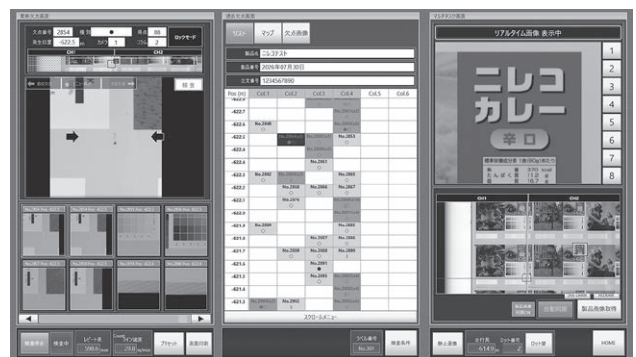
製品の伸縮・蛇行による同期ずれに起因する誤検出を低減し、安定した検査に貢献。

(4) 柔軟な設置環境への対応

制御盤からカメラまで最大 70m のケーブル長に対応し、多様なライン構成に対応。

(5) 高速・高精度な画像検査

自社開発の高速画像処理ボードと CoaXPress インターフェースにより、高速ラインでの検査を支援。



操作画面

想定用途・対象工程

軟包装、シール・ラベル印刷、紙包装パッケージ印刷、デジタル印刷(条件による)、製袋印刷、グラビア印刷、フレキソ印刷、ラベル印刷、押出ラミネート、ドライラミネート、製袋機(条件による)、巻替機・スリッター、コーター(条件による)、ガセット機

主な仕様

検査対象：絵柄検査（無地検査は条件により一部対応）

カメラ：3CMOS カラーラインセンサカメラ

画素数：4,096 画素 / 80MHz

最大ライン速度：1000m/min（分解能条件による）

標準構成例：ライン速度 200m/min 時、横方向分解能 0.15mm、縦方向分解能 0.2mm

検査幅：約 1,200mm（2ch 構成例）、最大 2,200mm

同時検出欠点数：20 個 / 秒

酒は永遠の友

vol.20

田口 薫

穀物は米のように粒のままで食べる粒食と粉に挽いて食べる粉食とがある。世界はほとんどが粉食だが、小麦を挽いてパンにしたりチャパティやナンにしたり、中国では団子状にして汁の中に入れて煮て食べていた。古代の伝説によると、はじめは天も地も混沌としていて、軽いものが上に重いものが下にまとまって天地が定まったという。天地の混沌とした様子に似ているから、混沌から饅頭^{ごんとう}となったのではないか。それを細い紐状にしたり、中に肉を入れてワンタンなどにしたのではないだろうか。

諸説あるが、うどんは香川県（讃岐の国）出身の弘法大師が大陸から持ち帰ったと言われている。うどん県と言われる香川は多くのうどん屋があり、ロードサイドの「丸亀製麺」のように色々なトッピングが用意されているところは共通している。高松のうどん屋に入るとおでんも売っていたりして面白いものだ。東洋インキの元会長の佐久間さんは香川の観音寺の生まれだが、彼によると香川県でもうどんの美味い、不味いはあり、丸亀市は美味い方ではないとか。店名とは関係ないが。



佐久間さんは私と同年で若い頃は知らないが、東洋インキ北海道の社長をやられていた増尾さんが20代の頃より同年で大変優秀な人がいて、経営企画室で修業をしていると言っておられたが、それが佐久間さんだったのではないかと晩年親しくしていただいた。ワインは常に同じ銘柄のフランスの赤で、よく持ち込んで愛飲していた。drupaのときは、デュッセルドルフの料理屋シューマッハにも持ち込み、ドイツ人のオヤジに嫌な顔をされた。大学時代、フランス語を第二外国語で履修してフランス好きだと自称されていた。フランスにインキ工場を作り、フランスに貢献したとして勲章も授与されているからフランス愛がさらに高まったのだと思う。



とあるインキメーカーのAさんは大変明るい人で声が大きい。特に笑い声は特別で、座がすっかり賑やかになる。酒も大好きで、人に飲ませるのが大得意。勧め上手で、Aさんから注がれると断れない。潰されてしまった人は数知れないという。たしか、2018年のinterpackのウェルカムパーティー、イタリアンレストランでのことである。イタリア・ピエモンテの銘酒「バローロ」が出された。Aさんの前に座ったのが某大手印刷会社のB氏、大きなグラスになみなみとバローロをつがれ、感激して一気に飲み干した。すると喜んだAさんが、よくやった、気に入った、もう一杯、もう一杯で、バローロが他の席でも盛り上がって、レストランのバローロの在庫がなくなり、次に三大ワインの1つ「バルバレスコ」が出てきた。とにかくAさんの席は盛り上がり、この晩も飲み過ぎて余計な金が掛かったらしい。



バローロはデパートで8,000～15,000円位だが、特別な年のヴィンテージものになると値段は天井知らずだ。イタリアワインで忘れられないのが、三大ワインの1つ「ブルネッロ・ディ・モンタルチーノ」(トスカーナ)で、数々の伝説があるという。私はイタリアワインに詳しくないが、15年程前、川田善朗さんから帝国ホテルのクラブに来るように言われ、出て来たのがこのワインであった。川田さんはあまり飲まれず、私が半分近く飲んで残りを持ち帰ったが、飲みやすく、飽きのこない風味に名前を覚えてしまった。イタリアにもワインの格付けはあるようだが、私のような素人は特に高い金を払う訳ではなく、数千円で掘り出し物に当たれば満足だ。

ワインの産地は他にもスペイン、ポルトガル等、北欧以外はどこでもある。ブルガリアやウクライナ等、東欧やブドウの原産地に近いトルコ等はどうだろう。東京・赤坂のトルコ料理屋「イスタンブール」は老舗の方だが、高級なコースが揃っている。世界三大料理はフランス、中国、トルコだそうだ。格調高く、ワインが特に良い。ジョージアもワインが美味いそうだ。亀有にジョージア料理があると聞いたが、まだ行けていない。

紙・板紙（１）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年5月	前年同月比（%）	1～5月累計	前年同期比（%）	2026年5月	前年同月比（%）
紙・板紙合計	1,723,546	95.9	8,585,725	96.1	1,527,818	95.1
紙計	766,623	90.6	3,889,602	92.2	707,995	93.2
新聞巻取紙	109,649	86.6	541,604	87.6	101,457	89.2
印刷・情報用紙	382,905	84.6	1,965,302	88.6	353,806	89.3
非塗工印刷用紙	83,559	86.3	463,154	91.8	81,849	86.5
上級印刷紙	51,538	79.1	325,933	92.2	57,869	86.8
中級印刷紙	16,730	106.7	65,567	94.9	11,897	87.4
下級印刷紙	14,668	94.4	68,213	86.6	11,554	85.7
薄葉印刷紙	623	136.3	3,441	101.2	529	64.0
微塗工印刷用紙	62,873	95.7	255,787	84.6	49,332	91.4
塗工印刷紙	152,894	81.4	809,609	87.5	147,844	88.1
アート紙	414	18.4	9,100	87.7	1,514	76.5
コート紙	82,554	76.6	445,983	84.7	82,804	84.6
軽量コート紙	58,496	93.3	295,529	92.9	52,880	93.2
その他	11,430	75.4	58,997	83.2	10,646	94.5
特殊印刷用紙	11,090	73.5	60,275	89.5	11,084	89.2
色上質紙	3,668	57.2	18,650	81.2	3,611	92.4
その他	7,422	85.5	41,625	93.8	7,473	87.7
情報用紙	72,489	83.2	376,477	90.3	63,697	94.8
複写原紙	5,135	61.8	30,869	84.3	1,722	54.4
フォーム用紙	14,245	75.9	69,954	93.0	15,064	94.6
PPC用紙	43,447	87.5	212,486	88.5	42,635	100.0
情報記録紙	8,239	92.8	54,945	99.3	3,038	81.9
その他	1,423	96.0	8,223	85.4	1,238	69.4
包装用紙	62,505	102.8	328,208	100.8	61,709	101.3
未晒し包装紙	42,508	102.6	228,273	101.7	42,002	100.4
重袋用両更クラフト紙	24,290	98.4	135,900	100.2	24,201	96.4
その他両更クラフト紙	16,739	105.5	83,732	102.2	16,359	105.8
その他未晒し包装紙	1,479	165.8	8,641	124.7	1,442	114.4
晒し包装紙	19,997	103.3	99,935	98.9	19,707	103.4
純白ロール紙	6,253	103.8	27,430	100.9	5,472	105.4
晒しクラフト紙	12,194	98.7	64,723	94.5	12,996	101.4
その他	1,550	155.9	7,782	144.9	1,239	118.2
衛生用紙	159,614	102.7	777,752	99.9	145,248	99.5
ティッシュペーパー	34,966	105.9	165,828	98.6	31,192	99.0
トイレットペーパー	94,325	100.6	461,245	98.3	86,441	99.8
タオル用紙	24,628	110.0	121,103	110.6	21,897	98.9
その他	5,695	92.3	29,576	94.7	5,718	99.4
雑種紙	51,950	101.6	276,736	98.2	45,775	106.1
工業用	49,133	102.2	261,676	98.2	43,041	107.0
加工原紙	40,600	104.3	219,586	98.9	35,333	110.1
電気絶縁紙	1,290	100.4	6,371	118.6	799	69.7
その他	7,243	92.5	35,719	91.5	6,909	98.8
家庭用	2,817	91.2	15,060	97.9	2,734	93.7

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年5月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～5月累計	前年同期比 (%)	2026/54/1	前年同月比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)
8,165,301	103.9	204,212	98.7	1,080,351	100.6	1,041,735	51.0
3,825,923	95.5	127,096	97.3	676,006	98.7	172,477	15.5
538,820	92.6	14,716	92.9	77,438	96.7	147,301	90.6
1,959,072	93.1	52,857	91.5	289,655	94.3	592,430	90.4
461,289	93.2	12,082	88.5	67,265	94.7	136,703	97.1
329,776	94.6	8,744	89.7	49,083	95.9	85,305	94.7
62,411	93.6	1,732	88.3	9,189	96.5	22,986	103.4
65,821	87.0	1,424	85.5	7,933	87.0	26,083	98.7
3,281	88.2	182	66.7	1,060	86.9	2,329	110.5
251,862	90.5	6,676	93.4	34,001	91.3	72,882	81.8
842,023	92.6	20,721	90.5	116,062	93.3	227,955	89.5
9,516	93.7	299	83.1	1,825	98.3	2,165	76.2
470,488	91.4	11,633	87.4	64,979	92.6	118,474	89.1
296,532	94.0	6,847	94.4	37,316	92.7	83,218	91.1
65,487	95.0	1,942	99.0	11,942	98.1	24,098	87.9
65,959	99.9	3,101	88.4	18,073	99.1	46,178	92.1
21,257	97.5	719	92.2	4,074	93.6	18,838	86.0
44,702	101.1	2,382	87.3	13,999	100.9	27,340	96.9
337,939	94.7	10,277	97.3	54,254	96.3	108,712	90.3
8,199	76.6	324	64.5	1,499	81.0	8,659	80.1
72,564	96.7	2,372	98.3	11,360	98.5	21,419	82.2
228,392	96.0	6,615	102.2	35,245	97.3	56,911	88.9
20,513	86.9	629	93.9	3,849	91.9	17,710	112.4
8,271	86.9	337	67.3	2,301	91.0	4,013	104.5
320,302	100.0	9,443	107.8	47,743	102.8	93,513	97.4
222,505	101.0	5,934	106.6	30,571	103.5	64,121	99.2
130,704	98.8	3,294	103.1	17,327	101.8	39,286	101.0
83,463	103.2	2,431	111.4	12,049	104.9	22,598	94.4
8,338	117.0	209	111.8	1,195	114.4	2,237	123.2
97,797	97.7	3,509	109.9	17,172	101.7	29,392	93.6
26,398	102.7	997	114.2	4,663	106.4	6,461	88.2
64,274	93.2	2,107	105.5	10,257	94.3	17,899	89.5
7,125	130.7	405	125.8	2,252	138.2	5,032	123.8
768,926	100.3	34,874	100.9	184,221	103.5	84,154	90.4
158,694	95.8	8,635	100.7	44,887	97.4	17,604	114.3
465,071	100.9	18,869	102.8	100,836	104.8	45,269	83.1
115,624	106.2	5,627	96.8	29,699	111.5	16,982	91.2
29,537	96.0	1,743	96.5	8,799	96.3	4,299	93.8
238,803	102.6	15,206	111.5	76,949	105.5	98,551	91.0
224,288	102.9	13,467	113.1	68,149	106.1	92,246	90.4
183,967	104.1	8,043	114.4	41,524	104.6	69,610	84.8
5,242	102.4	2,043	122.2	9,850	122.9	4,473	122.3
35,079	97.3	3,381	105.5	16,775	101.5	18,163	111.4
14,515	98.2	1,739	100.3	8,800	101.0	6,305	101.5

紙・板紙（２）

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年5月	前年同月比（%）	1～5月累計	前年同期比（%）	2026年5月	前年同月比（%）
板紙計	956,923	100.6	4,696,123	99.5	819,823	96.8
段ボール原紙	806,202	102.3	3,889,004	100.1	676,846	97.9
ライナー小計	488,952	98.5	2,386,208	99.1	412,300	97.5
外装用（クラフト）	349,468	97.1	1,694,888	98.9	298,048	97.6
外装用（ジュート）	131,155	102.2	649,130	99.5	106,435	97.6
内装用	8,329	102.7	42,190	103.7	7,817	92.7
中しん原紙小計	317,250	108.8	1,502,796	101.7	264,546	98.6
紙器用板紙	105,260	88.8	576,000	96.5	103,428	91.7
白板紙	97,523	89.1	532,933	96.6	96,235	91.9
マニラボール	38,933	84.0	223,061	99.2	38,877	89.2
白ボール	58,590	92.8	309,872	94.7	57,358	93.8
黄・チップボール・色板紙	7,737	86.0	43,067	96.1	7,193	88.5
雑板紙	45,461	100.9	231,119	97.8	39,549	91.5
建材原紙	13,048	99.6	65,774	99.2	12,413	92.7
紙管原紙	22,357	103.4	114,457	100.3	19,485	92.6
その他	10,056	97.3	50,888	91.1	7,651	86.9

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年5月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

プラスチックフィルム・シート

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年5月	前年同月比（%）	1～5月累計	前年同期比（%）	2026年5月	前年同月比（%）
フィルム合計	158,316	95.4	814,908	98.6	165,120	100.1
軟質製品小計	115,251	96.3	590,858	99.4	110,588	99.5
農業用	4,482	79.9	26,706	92.9	5,182	110.2
包装用	80,908	95.4	416,967	99.7	79,442	99.2
ラミネート	7,468	91.4	40,639	96.1	8,462	95.2
その他	22,393	105.9	106,546	101.4	17,502	99.9
硬質製品	43,065	93.2	224,050	96.5	54,532	101.3
シート	15,892	96.3	86,307	102.6	14,557	100.1
合成皮革	3,884	102.7	20,589	95.3	3,965	102.2

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年5月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

インキ

	生産量（トン）				販売数量	
	2026年5月	前年同月比（%）	1～5月累計	前年同期比（%）	2026年5月	前年同月比（%）
印刷インキ合計	17,801	87.2	101,200	95.4	21,634	93.4
一般インキ小計	16,560	87.8	93,613	96.1	20,535	94.6
平版	3,706	84.8	22,903	97.8	4,491	95.2
樹脂凸版	1,313	87.9	7,277	97.2	1,358	96.8
金属印刷	615	85.7	3,428	99.1	761	95.1
グラビア	8,413	86.5	46,596	93.5	11,054	93.2
その他	2,513	98.7	13,409	101.4	2,871	98.4
新聞インキ	1,241	79.4	7,587	87.6	1,099	74.7
印刷インキ用ワニス	4,234	85.1	24,157	90.5	1,512	99.0

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年5月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)
4,339,378	112.7	77,116	101.0	404,345	104.0	869,258	93.6
3,555,932	116.4	57,843	102.2	300,283	104.1	636,874	92.7
2,156,571	128.4	36,815	101.2	189,688	103.6	413,418	90.5
1,539,982	101.1	27,153	101.3	138,304	103.2	303,468	87.6
576,136	101.5	8,908	101.0	47,600	104.9	101,979	98.7
40,453	98.7	754	97.4	3,784	100.6	7,971	110.8
1,399,361	101.7	21,028	104.1	110,595	105.1	223,456	97.2
571,913	99.7	14,569	98.3	79,471	105.2	159,751	91.4
530,919	100.0	13,659	98.5	74,435	105.7	138,673	89.9
227,505	103.0	6,505	95.9	37,603	108.6	59,415	85.2
303,414	97.9	7,154	101.1	36,832	103.0	79,258	93.7
40,994	95.1	910	94.6	5,036	98.4	21,078	103.0
211,533	96.3	4,704	95.8	24,591	98.4	72,633	108.3
64,323	95.8	1,006	90.2	5,048	94.9	21,645	109.8
105,514	97.8	1,995	98.8	10,554	101.8	28,515	96.0
41,696	93.4	1,703	95.9	8,989	96.6	22,473	127.3

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)
856,742	102.2	113,657	107.6	566,137	112.0	255,865	94.5
588,998	102.8	83,381	110.2	416,749	117.9	191,790	95.6
30,530	103.2	2,910	122.9	16,631	111.9	13,039	87.5
418,582	103.0	46,531	112.5	222,961	128.4	132,341	95.6
46,550	99.9	7,988	101.6	41,178	100.7	23,031	98.8
93,336	102.8	25,952	107.8	135,979	109.5	23,379	97.2
267,744	101.1	30,276	101.2	149,388	98.4	64,075	91.3
79,517	105.2	7,328	100.6	39,294	103.6	18,791	91.3
20,728	96.6	7,099	101.8	37,571	98.1	2,618	84.6

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同月比 (%)
117,807	96.0	21,925	100.5	113,329	60.4	19,747	103.3
111,545	97.1	21,241	101.5	109,448	59.8	17,665	102.9
24,758	93.7	3,490	97.4	18,907	95.3	5,728	106.8
7,688	103.4	1,178	102.3	6,475	106.2	1,098	92.8
4,237	98.9	730	102.8	4,084	35.4	962	134.2
59,508	96.1	7,347	102.8	37,440	35.7	6,684	101.7
15,354	103.3	8,496	101.8	42,542	104.5	3,193	95.9
6,262	80.8	684	77.2	3,881	84.4	2,082	106.9
8,188	97.8	731	111.9	3,632	104.8	1,822	100.0

不織布

	生産量 (トン)				販売数量	
	2026 年 5 月	前年同月比 (%)	1～5 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 5 月	前年同月比 (%)
不織布合計	18,715	93.8	103,897	96.8	16,238	83.9
乾式不織布	16,055	92.5	90,016	96.7	15,961	95.2
湿式不織布	2,660	102.5	13,881	97.7	277	10.7
用途別生産内訳	衣料用	102	122.9	554	121.5	
	車両用	3,084	105.1	16,260	100.8	
	その他の産業用	4,370	91.3	24,177	95.6	
	土木・建築用	1,166	79.6	6,482	106.3	
	農業・園芸用	83	89.2	525	82.5	
	生活関連用	5,066	93.2	27,282	94.1	
	医療・衛生用	3,933	92.1	24,213	95.7	
その他用	911	102.5	4,407	99.6		

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 5 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

粘着テープ・シート類

	出荷数量 (平方 m)				出荷金額 (千円)			
	2026 年 5 月	前年同月比 (%)	1～5 月累計	前年同期比 (%)	2026 年 5 月	前年同月比 (%)	1～5 月累計	前年同期比 (%)
粘着テープ・シート合計	65,313,397	100.2	357,549,700	103.8	8,786,517	94.6	46,503,956	93.1
粘着テープ類小計	62,349,905	99.8	342,704,894	103.7	8,381,102	93.9	44,482,487	92.5
紙	28,292,714	104.5	145,900,387	106.7	1,801,913	101.5	9,262,968	107.1
布	9,518,041	97.8	51,112,920	106.7	1,649,498	104.1	8,509,923	107.8
フィルム	21,174,288	96.5	127,612,858	103.2	3,107,255	87.6	16,886,344	87.3
特殊	3,364,863	89.8	18,078,732	81.4	1,822,436	90.2	9,823,252	80.5
粘着シート類	2,963,492	110.3	14,844,806	106.2	405,416	111.6	2,021,470	109.1

出所：日本粘着テープ工業会、累計は編集スタッフが計算した

ポリプロピレンフィルム

	出荷量 (トン)			
	2026 年 5 月	前年同月比 (%)	1～5 月累計	前年同期比 (%)
OPP フィルム合計	16,399	101.6	88,173	104.3
内需計	16,082	100.8	86,730	103.8
食品	13,136	102.5	70,337	104.0
繊維・雑貨	1,004	96.2	5,553	102.7
工業用・その他	1,942	93.1	10,840	103.2
輸出	317	168.6	1,443	143.7
CPP フィルム合計	11,347	95.1	63,861	103.0
内需計	11,176	95.1	62,549	102.6
食品	9,702	95.1	54,019	102.9
工業用	406	100.7	2,158	96.9
繊維・雑貨・その他	1,068	93.2	6,372	103.0
輸出	171	98.8	1,312	123.4

出所：日本ポリプロピレンフィルム工業会、累計は編集スタッフが計算した

アルミ箔

	数量	
	2026 年 5 月	前年同月比 (%)
生産数量 (トン)	6,773	85.8
販売数量 (トン)	7,496	96.0
販売金額 (百万円)	10,659	108.0
月末在庫 (トン)	4,209	99.0

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026 年 5 月）、累計、前年同月比は編集スタッフが計算した

(トン)		販売金額 (百万円)				月末在庫 (トン)	
1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同期比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同期比 (%)
97,686	94.8	16,096	99.0	83,103	98.0	29,779	101.1
86,275	96.8	12,840	96.9	66,916	97.0	23,328	100.4
11,411	81.9	3,256	107.9	16,187	102.7	6,451	103.4

印刷加工機械

	生産台数 (数量)		生産金額 (百万円)	
	2026年5月	前年同期比 (%)	2026年5月	前年同期比 (%)
印刷機械	1,172	80.4	8,023	97.3
平版小計	28	75.7	4,128	102.7
長巻式	0	0.0	0	0.0
枚葉式	28	82.4	4,128	117.6
凹版	×	—	×	—
その他	×	—	×	—
製版機械	31	93.9	280	95.6
紙工機械合計	28	121.7	2,831	109.8
段ボール製造用機械	7	116.7	474	152.4
その他	21	123.5	2,357	103.9

出所：経済産業省生産動態統計確報（2026年5月）、×は秘匿、累計、前年同期比は編集スタッフが計算した

印刷機械輸出入

		台数（数量）		金額（千円）	
		2026 年 5 月	前年同月比（％）	2026 年 5 月	前年同月比（％）
輸 入	オフセット（巻紙式）	1	－	279	－
	オフセット（その他）	3	－	286,308	－
	凸版	0	－	0	－
	グラビア	0	－	0	－
	フレキソ	0	－	0	－
	インクジェット	2,443	149.0	411,613	78.5
輸 出	オフセット（巻紙式）	7	233.3	25,818	26.3
	オフセット（その他）	82	109.3	4,259,004	120.4
	凸版	12	1200.0	45,621	98.4
	グラビア	0	－	0	－
	フレキソ	2	33.3	56,085	102.0
	インクジェット	878	70.0	2,696,384	138.1

出所：日本貿易月表（2026年5月）、累計、前年同期比は編集スタッフが計算した

ポリオレフィンフィルム

	出荷数量 (トン)			
	2026年5月	前年同期比 (%)	1～5月累計	前年同期比 (%)
合計	26,012	102.4	135,585	100.3
LDPE 合計	17,662	103.4	92,862	100.5
HDPE 合計	8,097	103.5	41,574	98.0
IPP フィルム	253	51.7	1,149	89.3

出所：日本ポリオレフィンフィルム工業組合、累計は編集スタッフが計算した



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額推移（百万円）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建建材	その他	合計
2023年 1月	4,230	9,036	298	3,682	6,934	1,209	1,324	26,713
2月	4,351	10,053	420	3,522	7,641	1,268	1,416	28,671
3月	4,945	13,491	293	4,613	8,139	1,326	1,730	34,537
4月	4,382	10,439	416	4,089	8,412	1,350	1,711	30,799
5月	4,037	9,856	481	3,804	7,161	1,182	1,455	27,976
6月	4,359	10,436	685	4,611	7,746	1,282	1,616	30,735
7月	4,254	9,333	689	3,789	7,905	1,341	1,617	28,928
8月	3,998	9,099	553	3,684	6,974	1,157	1,415	26,880
9月	4,335	10,535	502	3,957	7,981	1,319	1,731	30,360
10月	4,339	10,487	520	4,236	7,885	1,275	1,649	30,391
11月	4,317	11,105	464	3,876	7,901	1,404	1,647	30,714
12月	4,324	10,896	491	3,913	7,841	1,258	1,632	30,355
2023年 合計	51,871	124,766	5,812	47,776	92,520	15,371	18,943	357,059
2023年 平均	4,323	10,397	484	3,981	7,710	1,281	1,579	29,755
2024年 1月	3,938	9,243	368	3,577	6,697	1,188	1,369	26,380
2月	4,232	10,492	372	3,409	7,462	1,307	1,477	28,751
3月	4,522	12,516	452	4,142	7,771	1,497	1,460	32,360
4月	4,174	10,369	441	3,907	8,242	1,404	1,615	30,152
5月	3,827	10,094	482	3,834	7,348	1,302	1,606	28,493
6月	4,223	10,410	627	4,370	8,073	1,403	1,590	30,696
7月	4,240	9,635	730	3,746	8,335	1,467	1,703	29,856
8月	4,029	9,153	542	3,578	6,980	1,297	1,413	26,992
9月	4,183	10,294	564	3,841	8,295	1,346	1,549	30,072
10月	4,352	10,558	614	4,060	8,287	1,478	1,586	30,935
11月	4,361	10,812	531	3,845	8,506	1,392	1,628	31,075
12月	4,325	10,892	510	4,275	8,637	1,343	1,572	31,554
2024年 合計	50,406	124,468	6,233	46,584	94,633	16,424	18,568	357,316
2024年 平均	4,201	10,372	519	3,882	7,886	1,369	1,547	29,776
2025年 1月	3,865	9,147	439	3,543	6,979	1,325	1,400	26,698
2月	3,976	10,534	381	3,540	7,994	1,422	1,499	29,346
3月	4,188	12,862	448	4,504	8,182	1,483	1,524	33,191
4月	3,718	10,274	427	4,033	8,735	1,438	1,587	30,212
5月	3,703	10,078	414	4,114	7,899	1,393	1,541	29,142
6月	3,920	10,610	348	4,854	8,588	1,440	1,642	31,402
7月	3,906	9,432	547	4,195	8,655	1,421	1,731	29,887
8月	3,692	8,886	524	3,622	7,296	1,190	1,356	26,566
9月	3,893	10,290	664	4,065	8,475	1,333	1,565	30,285
10月	4,093	10,692	596	4,598	8,539	1,477	1,669	31,664
11月	4,060	10,587	560	3,887	8,570	1,394	1,569	30,627
12月	4,154	10,366	534	4,368	8,415	1,319	1,514	30,670
2025年 合計	47,168	123,758	5,882	49,323	98,327	16,635	18,597	359,690
2025年 平均	3,931	10,313	490	4,110	8,194	1,386	1,550	29,974
2026年 1月	3,535	8,924	520	4,136	7,545	1,218	1,439	27,317
2月	3,689	10,214	473	3,777	8,018	1,273	1,444	28,888
3月	4,041	12,630	451	4,783	8,308	1,241	1,628	33,082
4月	3,594	10,376	429	4,615	9,172	1,231	1,634	31,051
5月	3,446	9,429	433	4,368	8,238	1,312	1,439	28,665
6月	3,778	10,511	441	5,306	9,713	1,399	1,864	33,012



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷

印刷の製品別生産金額比率（％）

	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2023年 1月	15.8	33.8	1.1	13.8	26.0	4.5	5.0	100.0
2月	15.2	35.1	1.5	12.3	26.7	4.4	4.9	100.0
3月	14.3	39.1	0.8	13.4	23.6	3.8	5.0	100.0
4月	14.2	33.9	1.4	13.3	27.3	4.4	5.6	100.0
5月	14.4	35.2	1.7	13.6	25.6	4.2	5.2	100.0
6月	14.2	34.0	2.2	15.0	25.2	4.2	5.3	100.0
7月	14.7	32.3	2.4	13.1	27.3	4.6	5.6	100.0
8月	14.9	33.9	2.1	13.7	25.9	4.3	5.3	100.0
9月	14.3	34.7	1.7	13.0	26.3	4.3	5.7	100.0
10月	14.3	34.5	1.7	13.9	25.9	4.2	5.4	100.0
11月	14.1	36.2	1.5	12.6	25.7	4.6	5.4	100.0
12月	14.2	35.9	1.6	12.9	25.8	4.1	5.4	100.0
2023年 平均	14.5	34.9	1.6	13.4	25.9	4.3	5.3	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2024年 1月	14.9	35.0	1.4	13.6	25.4	4.5	5.2	100.0
2月	14.7	36.5	1.3	11.9	26.0	4.5	5.1	100.0
3月	14.0	38.7	1.4	12.8	24.0	4.6	4.5	100.0
4月	13.8	34.4	1.5	13.0	27.3	4.7	5.4	100.0
5月	13.4	35.4	1.7	13.5	25.8	4.6	5.6	100.0
6月	13.8	33.9	2.0	14.2	26.3	4.6	5.2	100.0
7月	14.2	32.3	2.4	12.5	27.9	4.9	5.7	100.0
8月	14.9	33.9	2.0	13.3	25.9	4.8	5.2	100.0
9月	13.9	34.2	1.9	12.8	27.6	4.5	5.2	100.0
10月	14.1	34.1	2.0	13.1	26.8	4.8	5.1	100.0
11月	14.0	34.8	1.7	12.4	27.4	4.5	5.2	100.0
12月	13.7	34.5	1.6	13.5	27.4	4.3	5.0	100.0
2024年 合計	14.1	34.8	1.7	13.0	26.5	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2025年 1月	14.5	34.3	1.6	13.3	26.1	5.0	5.2	100.0
2月	13.5	35.9	1.3	12.1	27.2	4.8	5.1	100.0
3月	12.6	38.8	1.3	13.6	24.7	4.5	4.6	100.0
4月	12.3	34.0	1.4	13.3	28.9	4.8	5.3	100.0
5月	12.7	34.6	1.4	14.1	27.1	4.8	5.3	100.0
6月	12.5	33.8	1.1	15.5	27.3	4.6	5.2	100.0
7月	13.1	31.6	1.8	14.0	29.0	4.8	5.8	100.0
8月	13.9	33.4	2.0	13.6	27.5	4.5	5.1	100.0
9月	12.9	34.0	2.2	13.4	28.0	4.4	5.2	100.0
10月	12.9	33.8	1.9	14.5	27.0	4.7	5.3	100.0
11月	13.3	34.6	1.8	12.7	28.0	4.6	5.1	100.0
12月	13.5	33.8	1.7	14.2	27.4	4.3	4.9	100.0
2025年 平均	13.1	34.4	1.6	13.7	27.3	4.6	5.2	100.0
	出版	商業	証券	事務用	包装	建装材	その他	合計
2026年 1月	12.9	32.7	1.9	15.1	27.6	4.5	5.3	100.0
2月	12.8	35.4	1.6	13.1	27.8	4.4	5.0	100.0
3月	12.2	38.2	1.4	14.5	25.1	3.8	4.9	100.0
4月	11.6	33.4	1.4	14.9	29.5	4.0	5.3	100.0
5月	12.0	32.9	1.5	15.2	28.7	4.6	5.0	100.0
6月	11.4	31.8	1.3	16.1	29.4	4.2	5.6	100.0



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額推移（百万円）

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシ	その他	合計
2023年 1月	2,236	16,400	5,351	205	330	2,191	26,713
2月	2,550	17,744	5,770	216	407	1,984	28,671
3月	2,700	22,085	6,588	251	407	2,506	34,537
4月	3,042	18,741	6,113	261	425	2,217	30,799
5月	2,389	17,505	5,492	232	321	2,037	27,976
6月	2,615	18,976	5,722	277	424	2,721	30,735
7月	2,733	17,615	5,760	293	426	2,101	28,928
8月	2,606	16,708	5,002	254	379	1,931	26,880
9月	2,869	18,873	5,875	275	423	2,045	30,360
10月	2,700	18,752	5,837	264	463	2,375	30,391
11月	2,865	19,078	5,861	271	465	2,174	30,714
12月	3,025	18,913	5,493	273	441	2,210	30,355
2023年 合計	32,330	221,390	68,864	3,072	4,911	26,492	357,059
2023年 平均	2,694	18,449	5,739	256	409	2,208	29,755
2024年 1月	2,165	16,310	5,107	221	324	2,253	26,380
2月	2,470	18,159	5,580	239	324	1,979	28,751
3月	2,643	20,789	6,042	210	349	2,327	32,360
4月	3,054	18,358	5,984	253	373	2,130	30,152
5月	2,377	17,736	5,800	218	312	2,050	28,493
6月	2,721	18,686	6,047	249	335	2,658	30,696
7月	2,814	17,984	6,345	257	364	2,092	29,856
8月	2,581	16,602	5,219	199	272	2,119	26,992
9月	2,844	18,278	6,130	260	327	2,233	30,072
10月	2,636	18,688	6,456	250	366	2,539	30,935
11月	3,014	19,004	6,214	273	366	2,204	31,075
12月	3,194	19,179	6,092	245	351	2,493	31,554
2024年 合計	32,513	219,773	71,016	2,874	4,063	27,077	357,316
2024年 平均	2,709	18,314	5,918	240	339	2,256	29,776
2025年 1月	2,143	16,114	5,516	247	345	2,333	26,698
2月	2,550	18,061	6,046	225	341	2,123	29,346
3月	2,572	21,242	6,120	246	343	2,668	33,191
4月	2,977	18,239	6,098	262	352	2,284	30,212
5月	2,452	18,051	5,792	245	330	2,272	29,142
6月	2,729	18,852	6,115	270	375	3,061	31,402
7月	2,774	17,803	6,232	267	398	2,413	29,887
8月	2,545	16,340	5,094	237	290	2,060	26,566
9月	2,865	18,618	5,890	278	407	2,227	30,285
10月	2,839	19,114	6,270	306	415	2,720	31,664
11月	2,929	18,572	6,023	262	389	2,452	30,627
12月	3,073	18,740	5,745	277	367	2,468	30,670
2025年 合計	32,448	219,746	70,941	3,122	4,352	29,081	359,690
2025年 平均	2,704	18,312	5,912	260	363	2,423	29,974
2026年 1月	2,255	16,597	5,327	228	336	2,574	27,317
2月	2,601	17,985	5,308	232	342	2,420	28,888
3月	2,567	21,275	5,843	236	369	2,792	33,082
4月	2,942	18,484	6,140	208	375	2,902	31,051
5月	2,606	17,306	5,870	201	359	2,323	28,665
6月	2,743	19,369	7,035	265	433	3,167	33,012



紙・印刷・プラスチック・ゴム製品統計月報に見るグラビア印刷

印刷の版式別生産金額比率推移 (%)

	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシソ	その他	合計
2023年 1月	8.4	61.4	20.0	0.8	1.2	8.2	100.0
2月	8.9	61.9	20.1	0.8	1.4	6.9	100.0
3月	7.8	63.9	19.1	0.7	1.2	7.3	100.0
4月	9.9	60.8	19.8	0.8	1.4	7.2	100.0
5月	8.5	62.6	19.6	0.8	1.1	7.3	100.0
6月	8.5	61.7	18.6	0.9	1.4	8.9	100.0
7月	9.4	60.9	19.9	1.0	1.5	7.3	100.0
8月	9.7	62.2	18.6	0.9	1.4	7.2	100.0
9月	9.4	62.2	19.4	0.9	1.4	6.7	100.0
10月	8.9	61.7	19.2	0.9	1.5	7.8	100.0
11月	9.3	62.1	19.1	0.9	1.5	7.1	100.0
12月	10.0	62.3	18.1	0.9	1.5	7.3	100.0
2023年 平均	9.1	62.0	19.3	0.9	1.4	7.4	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシソ	その他	合計
2024年 1月	8.2	61.8	19.4	0.8	1.2	8.5	100.0
2月	8.6	63.2	19.4	0.8	1.1	6.9	100.0
3月	8.2	64.2	18.7	0.6	1.1	7.2	100.0
4月	10.1	60.9	19.8	0.8	1.2	7.1	100.0
5月	8.3	62.2	20.4	0.8	1.1	7.2	100.0
6月	8.9	60.9	19.7	0.8	1.1	8.7	100.0
7月	9.4	60.2	21.3	0.9	1.2	7.0	100.0
8月	9.6	61.5	19.3	0.7	1.0	7.9	100.0
9月	9.5	60.8	20.4	0.9	1.1	7.4	100.0
10月	8.5	60.4	20.9	0.8	1.2	8.2	100.0
11月	9.7	61.2	20.0	0.9	1.2	7.1	100.0
12月	10.1	60.7	19.4	0.8	1.1	7.9	100.0
2024年 平均	9.1	61.5	19.9	0.8	1.1	7.6	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシソ	その他	合計
2025年 1月	8.0	60.4	20.7	0.9	1.3	8.7	100.0
2月	8.7	61.5	20.6	0.8	1.2	7.2	100.0
3月	7.7	64.0	18.4	0.7	1.0	8.0	100.0
4月	9.9	60.4	20.2	0.9	1.2	7.6	100.0
5月	8.4	61.9	19.9	0.8	1.1	7.8	100.0
6月	8.7	60.0	19.5	0.9	1.2	9.7	100.0
7月	9.3	59.6	20.9	0.9	1.3	8.1	100.0
8月	9.6	61.5	19.2	0.9	1.1	7.8	100.0
9月	9.5	61.5	19.4	0.9	1.3	7.4	100.0
10月	9.0	60.4	19.8	1.0	1.3	8.6	100.0
11月	9.6	60.6	19.7	0.9	1.3	8.0	100.0
12月	10.0	61.1	18.7	0.9	1.2	8.0	100.0
2025年 平均	9.0	61.1	19.7	0.9	1.2	8.1	100.0
	活版	オフセット	グラビア	スクリーン	フレキシソ	その他	合計
2026年 1月	8.3	60.8	19.5	0.8	1.2	9.4	100.0
2月	9.0	62.3	18.4	0.8	1.2	8.4	100.0
3月	7.8	64.3	17.7	0.7	1.1	8.4	100.0
4月	9.5	59.5	19.8	0.7	1.2	9.3	100.0
5月	9.1	60.4	20.5	0.7	1.3	8.1	100.0
6月	8.3	58.7	21.3	0.8	1.3	9.6	100.0